

かめ通

kameya
sangyo
tsu-shin
Vol.27

2026.3.20

発行
かめや産業株式会社
広島市西区井口
4-15-1
亀本みほ
082-277-1080



防災グッズを開発している

建具屋さんが居るツ！の巻



みなさまこんにちは。

…他紙が報じているのを見て、いてもたってもいられず、本紙でも取材を申し込んだところ、快くOKしていただきました。取り次いでくれた川口市の職員さん、ありがとうございます。

そんなわけで3月のある日、埼玉県川口市の有限会社福島商会さんを訪ねました。こちらは木製建具の施工や内装工事を行う会社です。

社長の福島隼人さんの故郷は福島県南相馬市。東日本大震災で親戚や友人が被災したことをきっかけに、「自身の得意分野を活かした防災アイテムの開発を始めたそうです。

その名も「救命オープンドア」。一般的な木製ド

Aの厚みを保ったまま内部に収納スペースを設け、防災備蓄ができる画期的なドアです。既存の木製ドアと交換するだけで導入でき、飲料水なら最大

12リットル、非常食や簡易トイレなども収納できます。災害発生後、支援が届くまでの数日間を支える備えとして考案されました。木製特有の課題である反りや強度についても、何度も試作と改良を重ねてこられました。

この製品は今後、住宅メーカーへの販売も視野に入れて展開していく予定とのこと。営業面や補助金申請では長男の佑人さん、次男の当さんも加わり、この取り組みを支えています。ドアの中に備える防災用品についても、他メーカーと連携してセットでの提案を考えておられます。



このアイデアは高く評価され、福島社長は川口市の「産業技術・技能者顕彰」でグッドアイデア賞を受賞。長年の建具施工の経験と、人命を守るための発想が評価のポイントとなったそうです。福島社長は、これまでにインドネシアへの技術指導や、女性が安心して現場で働ける環境づくりにも取り組むなど、仕事を通じて幅広く社会貢献をされています。

「救命オープンドア」というネーミングも社長のお気に入り。確かに、「救命」とつくことで、ピンチの時に助けしてくれるヒーロー感がありますね。

最後にこんな質問をしてみました。

「どんな時にアイデアが浮かびますか？」

すると社長は笑いながら、「ふざけて考えていると良いアイデアが浮かんできます」と答えてくれました。

かめ通向きの回答に感激！アイデアだけでなく、それを形にする行動力もまた福島社長の強みなのだと感じた取材でした。



長男 佑人さん



福島社長



次男 当さん